



英語外部検定試験を上手に活用しよう

◆外検入試利用受験は増加傾向にある

入試改革2年目の2022年は、昨年以上に英語外部検定利用入試（外検入試）を実施する大学が増える見込みで、おそらくみなさんの受験時にもこの傾向は続いていくでしょう。2021年の一般選抜・学校推薦型・総合型において、何らかの形で外部検定を利用した入試を行った大学は、412大学（全入試合計）にのぼっています。文系・理系を問わず必要になる英語を、2年生までに基礎を押さえておくことが志望校合格のための近道と言えます。本校では外部検定試験の実施はありませんが、改めて概要をきちんと押さえ、英語力の向上と併せて上手に利用したいものです。

◆外部検定試験の利用方法

- 1 **出願資格**—出願条件として、各大学が指定する外部検定の級やスコアの保有を義務づけているパターンで、この場合は英語の独自試験を免除されることが多いです。例えば、私立大の一般選抜であれば、独自試験を英語以外の教科に絞った対策が可能となります。
- 2 **得点換算**—保有している外部検定の級やスコアのレベルが、共通テストや独自・個別試験の点数に換算され、資格レベルによっては「満点」に換算されるケースもあります。
※外部検定の級やスコアを保有していても、大学独自の英語試験を受験する大学もありますが、その場合はどちらかの成績の良い方で判定されることが多いです。
- 3 **加算**—受験生が保有している外部検定の級やスコアに応じて、個別試験の得点に対して決められた点数が加算されるパターンです。得点換算と同様、英語力に自信がある受験生にはメリットがあります。例えば・・・英検2級を持っている ⇒ 総合点に10点プラス
英検準1級を持っている ⇒ 総合点に20点プラス
- 4 **判定優遇・合否参考**—大学が指定する外部検定の級やスコアを保有している場合、1次試験や最終選考などで出願書類の評価や合否の判定における優遇が得られるというパターンです。例えば・・・「英検2級以上=合否判定の参考とする」など。

※選抜方法により、どのパターンで利用されているかがけっこう異なります。一般選抜では「得点換算」が最も多く、全体の約6割に達している一方、学校推薦型・総合型では「出願資格」が過半数近くを占めています。

◆外部検定試験のどれを選べば良いか

やはり、いずれの入試でも採用率が最も高い「実用英語技能検定（通称：英検）」がおすすです。他の外検試験と比べて検定料が比較的安く、試験会場が近いことも理由として挙げられます。

◆今年度は第3回検定（1月）がラストチャンス！

個人申込〆切日：12月10日（金） ※インターネットかコンビニエンスストアにて。裏面の英検公式学習ソフト（期間中は利用無料！）なども活用し、英語力も高めよう。

12月の目標

1年生 2学期をふりかえり、学習習慣を見直す

2年生 保護者懇談期間を利用し、3年0学期への見通しをもつ

◆ 探究のまとめをしっかりと

2学年は12/9(木)にグループ別探究発表会が予定されています。分野担当の先生方からの助言やアドバイスを参考に、スライドやプレゼンテーションの再考をしてください。インターネットや本の情報を貼り合わせただけの(いわゆるコピー)ものは説得力が弱く、探究的な見方は身につけません。自己の進路に関する学習を通して、自己理解や将来の在り方・生き方を考える内容になっていますか？

◆ 読書旬間中です

11/29(月)～12/10(金)は本校の読書旬間です。探究を通して深まった理解や、新たに湧いた興味や関心を刺激するような書籍と出会いましょう。保護者懇談会の午後等を有効活用して、図書館に足を運びましょう。

◆ サタセミ(12/11(土))

1年生—国語・数学・英語(学校でオンライン授業)

2年生—小論文講義・小論文模試

1年生は教科学習、2年生は小論文の力をさらにつける機会としましょう。裏面に、学研が推奨している「小論文を書くために読んでおきたい本」を、ほんの一部ですが掲載しておきます。自分の志望分野を中心に、ぜひ手に取ってみましょう。

◆ 成績会議(12/8(水))・保護者懇談会(12/17～12/23)

2学期の成績や生活を振り返り、保護者懇談期間中の学習計画を立て、3学期や学年末に向けての見通しを立てましょう。2年生のみなさんは、“2年3学期=3年0学期”を意識し、英数国の基礎固めを始めましょう。保護者の皆さま、懇談会ではお世話になります。

◆ 年末年始休業(12/27～1/5)

12/25(土)・26(日)を含めて、12日間の冬休みとなります。家族で穏やかな時間を過ごすとともに、来年への英気を養う休みとしましょう。課題は早目に終わらせ、休み明けの実力テスト(1/6・7)に向けた学習を計画的に進めてください。

今月の3年生

「共通テストに向けて幕地(まっしぐら)」

共通テストに向けた特別編成授業も3週目に入りました。3年生は85分×4コマの日課にも慣れ、確実に地力を高めています。先々週末には全統プレテストが行われ、残る全国模試は希望者による今週末の駿台プレテストのみとなります。実力が数字になって表れてくるのはここからです。ガンバレ3年生!

12月		
1水	A	
2木	A	
3金	A	
4土	○	※
5日	○	
6月	B	
7火	B	
8水	B	5分短縮
9木	B	
10金	B	
11土	○	駿台プレ[3] S ※
12日	○	
13月	A	
14火	A	
15水	A	
16木	A	
17金	A	①②③
18土	○	※
19日	○	
20月	B	①②③
21火	B	①②③
22水	B	①②③
23木	B	①②③
24金	B	①②③ 終業式 ☆
25土	○	※
26日	○	
27月	○	
28火	○	振替休日(9/20)
29水	○	
30木	○	
31金	○	

(午前3時間授業)
保護者懇談期間

●小論文模試を書くために読んでおきたい本[文系編] (学研より一部抜粋)

書名	著者名	出版社
人文系		
「14歳の君へ どう考えどう生きるか」	池田晶子	毎日新聞社
「小論文 書き方と考え方」	大堀精一	講談社選書メチエ
「それでも、日本人は「戦争」を選んだ」	加藤陽子	新潮文庫
「思考の整理学」	外山滋比古	筑摩書房
「ことばの教育を問いなおす」	鳥飼玖美子・荻谷剛彦	ちくま新書
「考えるとはどういうことか 0歳から100歳までの哲学入門」	梶谷真司	幻冬舎新書
「知の体力」	永田和宏	新潮新書
「たったひとつの「真実」なんてない」	森達也	ちくまプリマー新書
法学系		
「憲法という希望」	木村草太	講談社現代新書
「思考停止社会」	郷原信郎	講談社
「多数決を疑う—社会的選択理論とは何か」	坂井豊貴	岩波新書
「AI倫理 人工知能は「責任」をとれるのか」	西垣通・河島茂生	中公新書ラクレ
教育系		
「ドキュメント高校中退」	青砥恭	筑摩書房
「本物の英語力」	鳥飼玖美子	講談社
「わかりあえないことから」	平田オリザ	講談社
「文系学部廃止」の衝撃	吉見俊哉	集英社新書
「友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える」	菅野仁	ちくまプリマー新書
経済系		
「弱者の居場所がない社会」	阿部彩	講談社
「農業がわかると、社会のしくみが見えてくる」	生源寺眞一	家の光協会
「商店街はいま必要なのか—「日本型流通の近現代史」	満園勇	講談社現代新書
「未来の年表 人口減少日本でこれから起きること」	河合雅司	講談社現代新書
「新・日本の階級社会」	橋本健二	講談社現代新書
「限界集落の真実」	山下祐介	ちくま新書
社会学系		
「若者」とは誰か (増補新版)	浅野智彦	河出書房
「希望のつくり方」	玄田有史	岩波書店
「外国人労働者・移民・難民ってだれのこと？」	内藤正典	集英社
国際関係		
「フラット化する世界 (増補改訂版上・下)」	T. フリードマン	日本経済新聞出版社
「イスラームから世界を見る」	内藤正典	ちくまプリマー新書
「正しい戦争」は本当にあるのか」	藤原帰一	ロッキング・オン

※次回は「学際系・福祉系・医療系・理系」を紹介します